

地域で育てる子どもの未来

福井市足羽小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	6回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	60人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	99人
登下校支援ボランティア	651人
その他 (校外での活動ボランティア)	58人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

< 具体的活動内容 >

① 親子の集い(福祉体験)

本校では毎年4年以上がPTAと連携して親子福祉体験活動を総合的な学習の一環として取り組んでいる。

<4年> 「心で伝え会おう」…目の不自由な人の生活についてのお話を聞き、実際にアイマスク体験を行った。

<5年> 「耳が不自由な人と…耳の不自由な人の生活についてお話を聞き、その後グループに分かれて実際に手話を学び交流した。

<6年> 「やさしさを…足の不自由な人の生活、スポーツについてのお話を聞き、広げよう」実際に親子で学校の周りで車椅子体験をした。

たくさんの保護者の方が参加してくださり、親子で有意義な時間を過ごすことができた。

② 小中合同清掃ボランティア(ボランティア体験)

光陽中学校の1年生と本校の3年生とで、校区内の3つの公園の清掃を行った。地域のボランティアの方も参加してくださり、草取りやごみ拾いを行った。

時折、卒業生の中学校での話なども聞きながら、また地域のボランティアの方の指導を受けながら、いくつものゴミ袋をいっぱいにすることができた。



③ 足羽山集会(自然体験)

6月に、地元の足羽山を利用して全校で足羽山集会を行った。縦割り班に分かれ、史跡や動物園巡り、縦割り班での遊びなどで1日を楽しんだ。高学年が事前に活動の企画を行い、当日はお世話すること、お世話されることを通して「思いやり」の心を育てている。

成果と課題

ゲストティーチャー、地域や保護者の方々のたくさんの参加により充実した体験活動を行うことができた。子どもたちは、様々な人とのふれ合いを通して、相手に対する思いやりの心やルールやマナーを学ぶことができた。今後は、学んだことを生かして自発的に行動できる児童、「地域を知り、地域を愛し、地域を語る」ことのできる児童の育成を目指していきたい。